

能登半島地震

被災者、避難者の皆様に
心からお見舞い申し上げます

新しい年を迎えたばかりで、大変な自然災害が起こってしまいました。未だ収まらない余震の中避難されている現地の方々のご苦勞、ご心勞をお察しします。また、支援活動をする皆様に敬意を表します。

被災地では高齢者施設などで介護職員らが懸命のケアが続けられています。しかし、被災者でもある職員の疲労も限界、業界の慢性的な人手不足のなかで課題は深刻です。

▶日本全国から 1700 人の応援支援

国による調整も始まりました。1月10日、厚労省から都道府県を通じて全国の介護施設などに職員の応援派遣を依頼。2月末までに43都道府県から約1700人の派遣が予定されています。

今回活用されるのが、「災害福祉支援ネットワーク中央センター事業」2011年の東日本大震災や16年の熊本地震などをへて広域支援の取り組みが構築されていき、22年度に現行の制度ができました。全国から派遣可能な介護職員を登録してもらい、厚労省などが被災地のニーズとマッチングさせて職員を派遣します。

▶当団体職員も派遣登録を検討

府からの要請を受け、クローバー・サービスも介護職員、ケアマネ等の災害福祉支援ネットワークへの登録を検討しています。



▶非常時に備え、業務継続計画を策定

自然災害は、いつどこで起こるかわかりません。非常時・災害時などに備え、クローバー・サービスでも昨年「業務継続計画」(BCP)を策定しました。

【業務継続計画 (BCP) とは】

自然災害、感染症などにより緊急事態に遭遇した際、事業の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法・手段など取り決めておく計画のこと。

もし今回の能登半島地震のような災害が私たちの町で起こった場合、果たしてこのBCPが有効に機能するのか、策定して終わりではなく、検証を重ねていかなければなりません。

災害復興に 30 万円を寄付

助け合いを掲げる団体として、被災した方々への支援にと、日本財団を通じて「災害復興支援特別基金」に30万円を寄付しました。

NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53
■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
■e-mail: info@cloverservice.or.jp
■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1
■TEL & FAX (0771)88-0138
■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR



有田誠(ありたまこと) 京丹波町在住の映画愛好家。

写真は、鴨緑江の北朝鮮観光客(丹東で筆者撮影)。

脱北映画の秀作

『ビヨンド・ユートピア 脱北』という記録映画が公開中である。

鴨緑江^{ヤムレーン}を越え、中国からベトナム、ラオス、そしてメコン川を渡りタイに至る命を懸けた行程の記録である。撮影不可能部分は、ス

マートフォンや携帯電話で、支援者や金目当てのブローカーたちが担当した。おまけに、この脱北者はおばあさん、息子夫婦、その幼い二人の娘という成功率ゼロに近い組合せだった。かつては、中国側の畑から白菜を盗ってくるような

「脱北」もできたが、コロナで中朝国境は、両側から有刺鉄線で閉ざされた。金正恩は、「国境の無断接近は警告なしで銃撃する」という布告を出した。

石丸次郎さんというアジアプレスを主宰するジャーナリストがいる。北朝鮮国内の秘密撮影をするチームがいて、二十五年に渡り、隠し撮りをつづけた。危険と判断して二〇一四年に中断している。

この映画の主役の一人と言える韓国のキム・ソウン牧師は、その石丸さんも見当がつかないと驚く撮影を、中国側と北朝鮮国内で二〇一六年からつづけている(ユーチューブ@caledministryで一部視聴可)。この二人の映像も使われている。この口一家五人の脱北行

にも牧師は同行する。彼はかつて国境で首の骨を折り、金属が七本も入っていると笑う。妻のパク・エスターさんも脱北者で、夫が金正日と体型が似ていたので一目惚れしたとのこと。

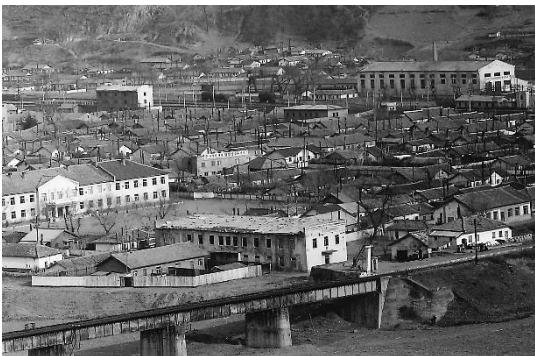
他に母一人が脱北、息子を何とか韓国に呼びたいというリ・ソヨンさんの活動、脱北後、アメリカで講演活動をする支援者のイ・ヒョンソンさんのエピソードが絶妙の編集でおり込まれる。

監督はマドレーヌ・ギャヴィン。(二〇二三年米映画) **中国側から** 十年ほど前、中国の吉林省^{ジールン}から遼寧省^{リャオネイ}の北朝鮮国境沿いを、地元のバスを乗り継いで数回移動した。いずれも真冬で、豆満江^{トマンガン}も鴨緑江も厚く凍っていた。二つの川は、長白山^{チンバイサン}(白頭山^{ベクトサン})

から北東と南西に流れる。これが中朝の国境になる。

凍てついた上り下り、カブの多い道を、バスはスπίードを出して走る。緊張の連続だった。何か所かで宿泊した。臨江^{リンジャン}から対岸の村や町を眺めても、家々の煙突から煙は上がっていない。夜は真暗闇だった。命がけて越冬する人々を独裁政権とひと括りにしてはいけない。

ロシア国境まで三十キ



北朝鮮の南陽(ナンマン)の町(筆者撮影)

口もない琿春は買出しのロシア人であふれている。商店の看板はロシアのキリル文字、漢字、ハンゲル文字が混在していた。

琿春からはロシア行、北朝鮮行のバスが出ている。

今ほど厳しくはなかったが、トウソン 閔們では瀋陽の部隊に拘束された。三時間ほどの尋問の末、軍用車でバスターミナルに運ばれ、町から追放された。集安では七百円ほど払うと、タクシーが喜んで国境沿いを走ってくれた。撮影も立ち入りも禁止の橋の下まで行き、警備



→ 閔們・南陽の豆満江国境

(筆者撮影)

兵の目の届かない所で、「撮れ、撮れ」と言う。こちらには怖くって困った。権力をおちよくっているのだ、一般人は。

そう言えば、丹東で知り合った大連の青年が、大連で一日ドライブにさそってくれた。旅順の日露の戦場跡をあちこち回ってと前日に頼んでおいた。すると当日の朝、宿に電話が入った。「今日は軍の演習で外国人は行かない方がよい」とのこと。彼は替わりに遼寧省の共産党幹部たちが困う愛人のマンションを案内してくれた。

国家権力と人々は別物である。ひと括りにしてはいけない。この区別もできない思考停止人間は、世界中にいるが、日本は度を越している。愛国心は権力に媚

び諂うことではない。

韓国側から

三十八度線の何か所から、北朝鮮を眺めたことがある。

ツアーでしか行けない板門店のガイドは、脱北者の女性だった。

日本海（東海）側の高城近くへは退役軍人の車で連れて行ってもらった。すぐに近くに金剛山が見えた。

金正日が死んだとき（二〇一一年、東北地震の年）には、三十八度線で警備につく兵役中の大学生から、不安の電話が丹波に入り驚いた。すぐに韓国に渡り、何カ所か回ったが、人々に特別変わった様子はなかった。最前線はやはり違うのである。

五年前、大邱の脱北者支援施設で、脱北者たちとの忘年会に出た。潜伏してい

た中国で、性的被害にあい、心を病んだ女性もいた。北朝鮮訪問から帰ったばかりの韓国系アメリカ人が通訳してくれた。彼女は持ち帰った北朝鮮の生理用品などの生活用品を見せてくれた。

国別の好感度調査が発表されることがある。中国や朝鮮半島は嫌われ、米国は好かれる。これは単に思考停止指数にすぎない。そこに日常を送る普通の人たちがいることを想像するだけで世界は違って見えてくる。

昨年北がらみの韓国映画が何本もあった。

不思議の国の数学者

チェ・ミンシクが脱北した天才的数学者を演じる。落ちこぼれ高校生と数学を通じて、交流が生まれる物語。こういう映画でも、エ

リート塾と金でつながる教師という悪い権力者を設定するのが韓国映画の面白さである。

コンフィデンシャル共助2

北の軍人ヒョンビンと南の刑事ユ・ヘジンがコンビで、北の高官の悪事を追いつめるシリーズ二作目。今回は韓国系アメリカ人のFBIも加わる。ニューヨークの派手な市街戦をはじめ、トム・クルーズの最新作の何倍も面白い。「少女隊」のイム・ユナの喜劇のセンスの良さは、さらにパワーアップした。

パーフェクト・ドライバー

思わぬ拾い物。どんな危ない人でも物でも車で必ず送り届ける脱北少女のカーチェイス映画。『レオン』のゲーリー・オールドマン

並みの悪徳刑事が面白い。

初詣、福笑いに、書初め展 (デイサービス)



初詣 (1月5日 金曜日 / 三和町菟原、梅田春日神社)

新年を迎え、デイサービス利用者さんとともに三和町菟原の梅田春日神社、京丹波町上野の能満神社へ初詣。今年一年の無病息災や、平穏無事、家内安全をお祈りしてきました。

レクリエーションでは、福笑いを楽しみ、毎年恒例、瑞穂小学校へ書初め展の見学にも出かけてきました。



正月遊び・福笑いを楽しむ利用者さん



書初め展を見学 (1月17日 日曜日 / 瑞穂小学校)

<賛助会員>

(有)あさひ堂
(株)一谷住宅
イン・ザ・ルーム 亀岡店
上段税理士事務所
(株)高木設備
たにやま鍼灸接骨院
田端輪業
(有)土佐寿司
(有)永田損害保険事務所
(有)西村テレビ
三木歯科医院
みづぼ電工
理容ちどり

(五十音順)

編集後記

参考書や問題集を購入して、重要な点にマーカーをひいてひたすら読み込み、問題集を解く。読んで、書いて覚えた学生時代。それを懐かしみながら、介護福祉士取得に向け、年末から受験勉強をしていました。▼受験に備え、スマホで検索したら無料で使える過去問題集や、受験対策のアプリがたくさん。あまりお金も使いたくないなど、参考書の購入は見送り、スマホを使ってひたすら過去問題とにらめっこ。ユーチューブで重要ポイントや、例題など流し聞きながら、すき間時間で勉強をすすめました。▼試験当日、会場に入ってからまず人の多さには圧倒されました。付箋にたっぶりの参考書を抱えたり、周りの人を見て、スマホでしか勉強してこなかった自分に少し焦りもしましたが、もう今更にもなりません。▼焦っては駄目だと、試験は時間をたっぶり使い慎重に進めました。「難しかった」という声はちらほら聞きました。こちらは自信たっぷりとは言えませんが、思ったよりはできたかなという印象です。▼合格発表は二ヶ月後になります。会場出口で配られたチラシから解答速報をみながら自己採点したところ、例年の合格ラインはなかなか越えていたので、恐ろしく大丈夫かと思いましたが、結果やいかに!? <編集子>